

埼玉だより

2006年第99号 平成18(2006)年6月30日発行

発行：埼玉県印刷工業組合広報委員会 ☎360-0031 熊谷市末広1-63 ☎048(524)4186 FAX048(524)7680

URL <http://www.saipia.net>

Eメール saiinkou@orion.ocn.ne.jp



幸手あじさい祭り 写真提供：幸手市産業振興課

印刷協力：有限会社幸文堂（埼玉支部）

〔用紙提供：埼玉会〕

埼印工組

平成18年度通常総会開かる

埼玉県印刷工業組合平成18年度通常総会が、5月20日（土）午後4時から、さいたま市浦和区浦和ワシントンホテル（プリモローズ）で開かれた。冒頭櫻井専務理事が司会を務めた。佐藤副理事長が開会のことばを述べ、新井副理事長が印刷産業人綱領を唱導した。次に新理事長が挨拶に立ち、合併が進んで印刷物の価格破壊がなお進行していること、その中において印刷組合としては上田埼玉県知事に「請負物の最低限価格の制定」を一層強く申入れることをアピールした。唯一明るい材料として中小企業団体中央会による印刷物の組合発注が継続して行われていると報告した。一方、



新理事長あいさつに立つ

議長を務めた星野晃輝氏
（浦和支部長）



組合は廃業等による組合員の退会で122社となり、最盛期の248社に比べ半減した。組合自体の運営も財政面から大変厳しいものとなっている、今総会はそうした課題に筋道をつけていかねばならないと結んだ。このあと、議長選出に移り、開催地支部からの選出ということで、浦和支部星野晃輝氏（支部長）が推挙され、議長席に着いた。以下、星野議長のよどみない議事進行で、総会はスムーズに進められた。

第1号議案 平成17年度事業報告承認の件

第2号議案 平成17年度収支決算報告承認の件
監査報告

以上3案は一括報告・審議され、可決された。

第3号議案 定款改定の件

組合員の減少、厳しい組合運営に伴っての組合の組織改革の一環として、役員の数改定が上程された。組合定款第26条（役員の数）第1項を改定する。

(1) 理事50人以上55人以内→25人以上30人以内

第29条 理事のうち1人を理事長、6人を副理事長、1人を専務理事、20人を常務理事とし、理事会において選任する。

この条文中、副理事長「6人」→「5人」、常務理事「20人」→「8人」と変更（減数）する。

以上2条文の改定が提案され、改定理由を了として満場一致可決された。

第4号議案 役員選出 原案通り可決。



感謝状贈呈 大川副理事長



来賓あいさつ 県会議員宮崎氏



来賓あいさつ 中央会梅沢氏



関連業代表あいさつ 浅海氏

懇親会で乾杯する二重作副理事長

第5号議案 平成18年度事業計画（案）承認の件

第6号議案 平成18年度収支予算（案）承認の件

以上2案が一括審議され、原案通り可決された。

第7号議案 借入金の最高限度額決定の件 原案通り可決された。

第8号議案 その他

ここで、会場組合員より、「今後組合財政が一層厳しくなる中で、退職積立金の取り崩しも限度がある、何か対応策を検討しているのか」との質問が出され、新理事長が答弁に立った。「新年度予算で、支部活動費を全額削除させてもらった（17年度実績で442,840円）。総会にむけての理事会でも種々意見が出された。組合事務所を理事長の会社におくなど、他工組でもいろいろ対応策を始めている。緊縮に努めながら、この1年間で答を見出していきたい。」と。これに対し、更に組合員から、「この厳しい状況では組合員が拠出する賦課金の値上げもやむをえないのではないか。組合が必要不可欠なものであれば賛成してくれる。このことも是

非検討してもらいたい」旨、前向きな追加発言があった。会場の他の出席者からも賛同の拍手があった。

報告事項 (1) 埼玉県中小企業団体中央会一括受注報告
報告事項 (2) 特別事業「たんぼぼ計画」事業の報告

以上をもって、平成18年度通常総会は無事終了した。議長解任となり、星野議長は重責を果たして降壇した。

このあと、今総会で退任することになった大川竹夫副理事長に対し、感謝状贈呈式が行われた。新理事長が感謝状を読み上げ、大川氏と固く握手、その長い期間（市川銀平理事長時より16年間）の労をねぎらった。大川氏は壇上でささやかな記念品と感謝状を頭上に掲げ、その気持に応えた。

総会は予定の午後5時すぎに終了、ひきつづきプリ

ムローズで、総会後の懇親会が行われた。関連業各社の参加を得て、賑々しく開催された。



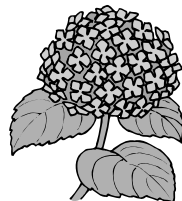
懇親会風景



新理事長が新三役紹介

新三役（平成18～19年度）

理事長 新 精一
副理事長 二重作 明 吉田 健
 新井 正敏 佐藤 伍郎
 岩渕 均
専務理事 櫻井 豊喜



委員会名簿

経営革新・マーケティング委員会

◎吉田 健 小沢 俊也 伊藤 信美
○堀川 真治 宮岡 茂穂

共済事業委員会

◎岩渕 均 奥 信吾 高橋 哲二
○夏目 義夫

教育・労務委員会

◎新井 正敏 市川 博也 石川 治
○沖田 正己 鈴木 正一

環境委員会

◎二重作 明 西野 和昌 野坂 弘幸
○田口 隆久

組織委員会

◎佐藤 伍郎 市川 健治 金井 一俊
○井坂 亨 金森 晃一 神山 和茂

広報委員会

◎櫻井 豊喜 飯田 一義 北野 元一郎
○小倉 新一

○高橋 小佐治

青年部

高橋 徹 井坂 功

◎ 委員長 ○ 副委員長

Tagaki
ISO9001認証取得

一貫生産だからできる自信と信頼

株式会社 永井機械製作所

〒332-0031 埼玉県川口市青木4-3-11
TEL 048-251-0901 FAX 048-255-4674

URL <http://www.nagaikikai.co.jp> E-mail sales@nagaikikai.co.jp

TFTカラーディスプレイコンピュータ断裁機
NCW-D7シリーズ(160.137.116.102)



副理事長雑感

埼印工経営革新・マーケティング委員長

吉田 健



今回、県印工組経営革新・マーケティング委員長に就任いたしました。自動的に全日本印刷工業組合連合会の委員として、平成20年3月31日までの2年間、前任者の栃木県工組の森重雄委員の後任として、関東甲信越静地区を代表して全国の役員会に出席いたします。

組合員の皆様もご承知の通り、世間では大企業を中心にバブル以上の好景気と言われていますが、我々印刷業界を取り巻く環境では、昨春以降の製版材料の値上げ、インキの値上げ、また本年3月以降の印刷用紙の値上げ等が、組合員企業の経営を圧迫しております。

本年度、全印工連の浅野健会長は年頭所感において、「勇気を持って変革に立ち向かい、前進する年になるように」と言われております。全印工連では、「業態変革推進プラン2008計画」を引き続き推進し、新しい環境へのチャレンジを支援してまいります。キーワードは「原点回帰」です。

印刷業界の将来を見通して、我々本来の仕事である紙に印刷することが無くなることはないと思われまます。業界自体の将来を見通しても、必ずしも暗いとは思われません。私自身、全国経営革新・マーケティング委員会に出席し、埼印工組の組合員の皆様に全国の新しい情報をいち早くお知らせ出来るように努力致す所存でございます。皆さん、くじけず頑張ってください。

関東甲信越静地区印刷協議会下期定例会を開催

去る3月2日、東京・日本橋の大日本インキ化学工業㈱会議室において、関東甲信越静地区印刷協議会平成17年度下期定例会を当工組の主管で開催した。

最初に堀地区協議会々長（新潟県工組理事長）が「昨年10月に新潟で開催した全印工連創立50周年記念式典並びに全国大会は、印刷業界の情報発信として内外から評価された大会になった。これは地区協議会の力であり各県工組の支援・協力によるものであって、深く感謝申し上げる。我々を取り巻く経営環境は依然として厳しく、大企業が感受している経済の活性化を我々も肌で感じたいものである。官公需問題は、全国的な広がりを見せているが、各地域の実状にあった解決策を一步一步着実に現実のものとするのが望まれる。」と挨拶した。

続いて当工組の新理事長が議長に選出され、議事に入る。第1号、第2号議案を処理した後、第3号議案の官公需問題に関する意見交換では、各県から様々な問題提起と改善努力の現状が報告され、問題の深刻さを改めて認識するとともに、決意が述べられた。第4号議案は次期開催主管県を新潟県と決定し、7月7日（金）新潟での開催が新潟県より報告され、全議事を終了した。

続いて全印工連武石専務理事から「佐賀県工組における官公需対策の改善事例、電子入札における価

格動向、用紙値上げ問題に関する対応など」の現況報告があった。続く矢部委員長（業態変革推進企画室）から「出荷額の2極化が進んでおり、付帯事業であるソフト・サービスが唯一伸びている。」と業態変革7キーズの背景が語られた。

休憩をはさんで理事長会、分科会が各々開かれた後、各分科会の討議結果が各座長より報告されて、平成17年度下期定例会を終了した。

会場を移して開かれた懇親会では当工組の新理事長が「官公需対策は、地道な努力の積み重ねであり、お互いに情報交換を密に行い、良い方向に進められればと思う。業界も大きく変化している、われわれも変化に対しダイナミックに挑戦したい。」と挨拶したあと、大日本インキ化学工業㈱塚越常務取締役の来賓挨拶があり、続く乾杯の音頭で懇親会の開宴となった。そして、定刻に当工組の二重作副理事長が中締めを行って懇親会を終了した。

会議進行役の新理事長



あいさつに立つ堀会長

第22回埼玉県印刷営業士会総会開かる

埼玉県印刷営業士会総会が、6月3日(土)マロウドイン熊谷で開催された。常任幹事齊藤清氏が開会のことばをのべ、続いて矢島会長のあいさつがあった。「本日は、第22回の総会開催に当り、埼玉県印刷工業組合役員の皆様方にもご臨席を賜り、厚くお礼を申し上げます。さて、近年の新聞紙上などでは、大手企業は業績好調で、増収増益と景気良い記事を目にしますが、一方で中小企業に於いては、益々厳しい状況が続いております。世間では、色々な分野で二極化が進んでいると言われております。勝ち組、負け組、あるいはディスカウントショップとブランド品の高級志向、家具業界も大塚家具センターが高級品家具で年間700億円も売上げ、トップセールスは1人で3億円も売り上げるそうです。又、札幌市に本社を置き全国135店舗を展開しているニトリは、東南アジアに工場を持って家具の種類を絞り、安値で提供して業績を伸ばしております。ラーメン業界も幸楽苑の290円のラーメンから、有名ラーメン店の850~1,000円もするラーメンと様々です。我々印刷営業マンも、提案営業とルートセールスに二極化されようとしています。お客様はアドバイザーを求めているのではないかと思います。同じ営業マンなら、アドバイスしてくれる営業マンに仕事を出したいと思うでしょう。自分はどのような営業マンになるのか、目標を持って活動して頂けたらと思います。お客様に信頼され、喜ばれる営業マンになって頂けることをお願いし、益々ご活躍されることをご祈念申しあげまして、ごあいさつに替えさせていただきます。本日は有難うございました。」続いて会長が議長となり、議事に入った。第1号議案平成17年度事業・決算報告承認に関する件が提案され拍手により承認され、監査報告があった。第2号議案平成18年度事業計画案・予算案承認に関する件が提案、承認された。来賓として、埼印工組の新井副理事長(教育委員長)が祝辞をのべた。

「営業士会の皆さん、こんにちは。

本日はお忙しい中ご出席、ありがとうございます。私をご紹介いただきました埼印工の教育・労務担当の新井でございます。よろしくお願いたします。本日はお招きいただきありがとうございます。本来は新理事長がご挨拶するところではありますが、所用のため出席できません。皆様にはくれぐれもよろしくとのことでございます。

総会は矢島会長のもと、議事もスムーズに終わり、おめでとうございます。今日はこの後、日本印刷技術協会の岩野先生のセミナー、そして懇親会と続きます。終了までしっかり学び、また、同志とのコミュニケーション、親睦等、時間の限り深めたいと思います。

ここ数年間にわたり厳しい営業活動が続いていますが、今日のセミナーを聴いて、学んで、1つでも2つでも営業活動のヒントになればと思っております。岩野先生より、いいお話が聴けることと思います。

また、全印工連から出ている「業態変革推進プラン2008計画」にも目を通されて、顧客満足と自らのモチベーションをいかに高めていくか、そこがポイントかと思っております。お互いに切磋琢磨して各企業の発展に貢献していただきたいと思っています。結びに、ご出席各社の益々のご発展と営業士の皆様の更なるパワーアップを期待しまして、ご挨拶いたします。本日はおめでとうございます。」



矢島会長あいさつ



新井副理事長祝辞

このあと、社団法人日本印刷技術協会岩野行雄氏による「印刷トップセールスマンへの道」～得意先志向の営業活動とは～の講演があった。以下、話の流れを項目的に紹介する。

1. 得意先志向と価値創造
 - (1) 得意先志向とは何か
 - 1) マーケットインとプロダクトアウト
 - *得意先の売上高、利益高増大あるいは利便性向上のために、一体、我々に何ができるのか?
 - (2) 価値提供と販売対象との関係
 - 1) 価値提供と差別化
 - 2) 得意先価値創造についての組織と能力
2. 企画提案活動
 - (1) 得意先を取りまく変化と得意先の関心事
 - 1) 得意先からみた顧客の変化、環境の変化、ライバルの変化
 - *得意先は見たこともないモノを発注することはできない。
 - *新機軸の企画であっても、誰のための、どういう時の、何のための企画なのか具体的に提案できない限り、その企画を受け入れない。

- (2) 得意先の課題解決
- * 得意先の話をよく聴くこと。
 - * 得意先の困っていることを聴くこと。
 - * 得意先の求めているニーズを聴くこと。
 - * 得意先の心の中にきっと潜んでいるであろうウォンツに触れること。
3. 定期訪問の徹底と3ヵ月先行受注管理
- (1) 定期訪問の徹底
- 1) 1日の総滞在時間
総滞在期間＝訪問1件当たり平均滞在時間×訪問件数
 - * 1日30分を定期訪問に充当する。
 - * 定期訪問によって他社への流出を防止する。
- (2) 3ヵ月先行受注管理
- 1) 前3ヵ月年間受注実績表の作成
 - 2) 得意先へのアプローチ、3ヵ月先までの発注約束の依頼
 - 3) 上司への見込み報告

4. 人脈づくり
- (1) 人脈づくりとは
- * 一体、誰を知っているのか、そのことによって何ができるのか？
 - * 求心力をつくりだせるのか？
- (2) 信頼を得る3条件
- 1) 人間性
 - 2) 行為、行動
 - 3) 意欲、能力



講演中の岩野行雄氏

埼洋会との第6回情報交換会を開催

3月17日(金)、鬼怒川「あさやホテル」において埼洋会との第6回情報交換会が開催された。

席上、新理事長から「官公需は価格下落に歯止めがかからない状況にある。岩淵副理事長を中心に対策を考えてもらっているが、有効な策が見出せず苦戦している。このような状況下において、この度の用紙値上げ問題は経営に大打撃を与えるものであり認め難いが、個別に話し合うことになる。共存共栄の精神を維持し、力を合わせてこの乱世を生き抜いてゆきたい。」との挨拶があった。

続いて浅海埼洋会会長から「製紙業界も流通システムが変化してシビアになっており、日本メー

カーがプライスリーダーになれなくなっている。用紙値上げ問題は石油の高騰が要因としてあり、長期化は避けられないのではと考えているようだ。製紙メーカーは再編成で巨大化し、競争力を高めており、世界から見て日本市場は魅力が無いと受け取られている。このような背景において、今回の値上げ幅は薄物コート紙中心に値上げ圧力が強い。紙業界も会員が減少する中で改善努力をしており、お互いに情報交換を密にして共に生き延びていければと考えております。」との、現況報告を含めた挨拶があった。その後、個々の情報交換と懇親に移り、盛会のなか散会となった。

関東五県印友会開催さる

6月9日(金)、平成18年度の関東五県印友会が、鴨川市において千葉県工組の主管により開催され、当工組から二重作、新井副理事長、櫻井専務理事並びに事務局が出席した。

鴨川シーワールドでの昼食・見学会終了後、ホテルに会議場を移し、印友会横山会長(茨城県工組理事長)の挨拶で会議が始まり、来賓として関東五県厚生年金基金の堀口常務理事から基金の概況を含めての報告と挨拶があった。

続いて千葉県工組の榎原理事長が議長席につき、議事に入った。

議題は、「①官公需問題の前回以降の取り組み状況について、②組織拡大と強化対策について、③プライベートマークの取得について」の3点で、各県工組から各々取組みについての発表があり、議論と情報交換が交わされた。議長の「活発な意見交換が為され、有意義な会議になった」との総括で議事が締め括られ、最後に来年度の主管県である当工組の二重作副理事長が歓迎の言葉とともに閉会の挨拶を述べ、会議は終了した。

続いて懇親会が開かれ、お互いの労をねぎらうとともに、再会を約してお開きとなった。

平成18年度青年部会通常総会開催される

5月26日（金） ホテルサンルート熊谷にて

去る5月26日（金）、青年部会通常総会が埼玉県印刷工業組合新理事長のご出席のもと、ホテルサンルート熊谷にて開催されました。

事業報告、決算報告、監査報告、新役員選出と役職決定、事業計画、収支予算と、慎重審議の結果、全て承認可決されました。また、本年度は2年任期の改選期であり、高橋会員が新会長に選出されました。

新役員の様子は以下の通りです。

会 長	高橋 徹
副会長	井坂 功
	大川 正行（会計）
幹 事	新 道行
	馬場 直輝（会計）
	馬場 高成
	海野 了一
	島田 高敏
	二重作和久
監 事	間庭 正記
	古内 司朗
直前会長	飯田 一義



飯田直前会長の挨拶



新理事長にも参加頂きました

総会終了後、別室にて懇親会となりました。

先ほどの総会で就任となった高橋会長を始めとする新役員から挨拶があり、これから2年間、皆で協力し青年部会を盛り上げていこうと約束しました。

最後に、今年度から協賛会員となった伊古田、市川両会員と、櫻井初代会長から閉会の挨拶を頂き、散会となりました。



海野会員による印刷産業人綱領唱和



高橋会員が新会長に就任

障害者雇用優良事業所見学会を開催

3月17日（金）県の委託事業である障害者雇用啓発トライアル事業（普及啓発）の一環として、障害者雇用の現状と雇用における留意点などを探るため、新理事長を始め組合三役及び事務局で栃木県鹿沼市に所在するジェイ・エス・ピーモールディング株式会社（以下JSP社）の見学会を実施した。

見学先のJSP社は発泡プラスチックの成型品工場で、障害者雇用の特例会社であり、従業員は約200名で、その内50名が障害者（知的）の方々であった。

作業内容は、主に成型品の最終工程のようであるが、中にはフォークリフト技能講習修了者もおり、広範囲に従事していた。

特筆すべきは、工場長の方針が「障害者の目線に

合わせた生産活動」としており、マンツウマン（障害者支援認定試験をパスした者を固定せずフリーで）体制で健常者と同一作業の割付や作業量の確保、部品管理の絵表示、作業能力（60数項目）を各人別に評価明示することで他の職場への配置転換を容易にすることなど、障害者の特性を生かすきめ細かな配慮がなされており、就業意欲を高めるための給与制度などの動機付けもなされていた。

また、障害者雇用に有効に運営するためサポートチーム（工場長、行政、出身校、ドクターなどで）が編成されており、速やかな問題解決の体制が整備されている。更に定年後の職場確保の体制も着々と整備されつつあり、障害者雇用の促進に参考となる見学会であった。

青年部研修会開催される

「業界の展望と課題、そして、皆さまと始めたい3つのご提案」

講師

富士フィルムグラフィックシステムズ(株)
技術一部部長 藤原保雄 氏

5月26日(金)、ホテルサンルート熊谷において、富士フィルムグラフィックシステムズ(株)技術一部部長の藤原保雄氏を講師としてお招きし、研修会を開催しました。

「業界の展望と課題、そして、皆さまと始めたい3つのご提案」というテーマで、以下の2部構成でお話されました。

第1部

- ・ 現在までの印刷業界の変化 (CTP化率、広告費の推移や環境問題など)
- ・ 近未来の印刷業界の姿を考える (フルデジタル化、ネットワーク化、協業など)
- ・ そこに向かって、我々は明日から何を始め、何を変えていくのか? (ビジネス形態・生産

形態・環境管理の変化など)

第2部

- ・ FFGSが皆様とはじめる最初の一步
- ・ FFGSの3つの提案 (業界のクリーン化、業界の効率化、業界の活性化)

全体を通して、CTP化・ネットワーク化・オンデマンドビジネスの拡大、また、環境対策の重要性などが印象的な内容でした。

なお、今回の研修会開催にあたり、富士フィルムグラフィックシステムズ(株)の島田会員には大変お世話になりました。ありがとうございました。



フィルム圧着はがき/封書システムの **KDK**

オンデマンド印刷〜 **対応!**
オフセット印刷〜

●1台でフィルム圧着ハガキ、圧着封書 全てが揃う...
●艶出しPPラミネート加工もできる〜
●コンパクト両面同時ラミネータで 大型機以上の機能と能率

世界初
小型全自動両面同時ラミネータ
ハガキ両面ラミネータ
SR-1500 PAT.P (幅)760×(長)1350×(高)1180mm

A3ワイドで薄紙から厚紙までの汎用性。

卓上型 **ポスピー** PAT.P

●折り加工
●断裁加工
●圧着加工
上記工程を1台で全て可能

フィルム方式だから少量ロット〜大量ロットまで必要量を自由処理可能!

おどろきの **新価格**

●抜き取り校正も可能。その場で再接着できます。
ビジネスフォーム用
(長)3330×(幅)700×(高)1040mm

ニスによる悪臭から解消、健康な「ハガキ」づくりを

連続フォーム用フィルム圧着ハガキ量産機 **ビーエフシーラー** PAT.P BF-2000

簡単に、そして美しく。
オフィスですばやくフィルム圧着ハガキがつけれる
(幅)955×(長)935×(高)330mm

KDK ケイティケイ株式会社
京都市南区西九条比奈城町71 TEL.075-671-7158(代) FAX.075-671-7821
●お問い合わせ先 ― 営業機械開発部迄

<メンテナンスは責任ある安全保証付です>

サクライ最高品位機種

OLIVER 75SD/SDP シリーズ

お仕事の幅を広げます!! **B2判ワイド** 登場!

高品位、高精細印刷とともに
最大印刷サイズ 785 × 560mmを実現

オリバー-275SDP
B2判ワイド2色両面兼用機も
シリーズラインナップに追加!!

オリバー-475SD
B2判ワイド4色印刷機

最高の製品をお届けすることで、お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社 〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138
名古屋営業所 〒451-0084 名古屋西区上堀越町2-9-1
TEL.(052)524-5541(代) FAX.(052)524-5545
大阪営業所 〒532-0012 大阪市淀川区木川東3-1-31
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679
九州営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670
岐阜工場 〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146

JAB ISO 9001 ISO 14001
9001 009 048 042
ISO 9001・14001認証取得
生産技術本部

● 洋紙のご需要は地元埼玉の洋紙店を ●

埼洋会会員

武正 (株) 取締役社長 武正 進介
 〒367-0047 本庄市前原二丁目二五
 ☎0495-24-1171

浅中紙商事 (株) 取締役社長 浅海 廣
 〒350-0856 川越市問屋町四丁目一
 ☎049-224-5111

石井紙販 (株) 代表取締役 石井 幸一
 〒333-0861 川口市柳崎三丁目七
 ☎048-261-3332(代)

埼玉紙業 (株) 取締役社長 肥留川 徹
 〒361-0076 行田市天満一丁目一五〇
 ☎048-556-4400

溝口洋紙 (株) 取締役社長 溝口 泰男
 〒330-0004 さいたま市見沼区卸町一丁目三三
 ☎048-685-0711

(株)大塚紙店 取締役社長 大塚 良助
 〒355-0328 比企郡小川町大塚一〇八
 ☎0493-72-0030

河内屋紙 (株) 代表取締役 郡司 勝美
 〒114-0023 東京都北区滝野川七丁目四八
 ☎03-3916-0261

(株)吉岡 代表取締役 吉岡 薫
 〒356-0011 ふじみ野市福岡五六一
 ☎049-253-4985

機材部
 Total Supply for Print
 写真製版機材・インキから印刷機まで全ておまかせ

写真製版部
 Assistance for More Comfort
 一步リードした製版システム技術 未来型印刷産業をクリエイト

グラフィックアーツシステム部
 Consultation for Progress
 プロフェッショナルなDTP・プリプレス Macintosh からハイウインドシステムまで 業務にあったシステム、設計から運用まで、トータルでサポート 自費出版・カタログ・社内報・会社案内・チラシなどの制作をお手伝いします。



株式会社 堀口プロセス機材

本社 群馬県渋川市1783
 営業本部・写真製版部 北群馬郡吉岡町大字小倉字北田461-3
 TEL (0279)23-1319 (0279)54-7575 FAX (0279)54-3553
 長野事務所 長野市大字栗田16 伊藤ビル1F
 TEL (0262)28-1502 FAX (0262)28-3735

=経済的で使いやすいレンタルウエス=

ラフト資材株式会社

代表取締役 小野義樹

E-Mail:fwhd2901@mb.infoweb.ne.jp

URL:http://www.raft-inc.ne.jp

本社/営業部:〒174-0051 東京都板橋区小豆沢4-14-35

tel:03-3965-7231 fax:03-3967-8795

美里工場:〒367-0102 埼玉県児玉郡美里町関280-1

(iso14001 認証取得) tel:0495-76-1315 fax:0495-76-2742

FUJIFILM
 I&I-Imaging & Information



i-Communication

大サイズ対応のゆとり、驚くべき高速性、そして安定性。この理想の総合性能が、いま、DDCPの新機軸となる。

大いなる速さ、大いなる美しさ。

B1G SPEED, B1G QUALITY

B1サイズ 高速・高安定デジタルカラーブルーファースト
Luxel SPEEDPROOF 9000



富士フイルム グラフィックシステムズ株式会社
 本社 〒104-8186 東京都中央区銀座7丁目10番5号 TEL 03 (3572) 8071

ホームページ http://www.fjgs.co.jp

支部だより

大宮刷機会

家族・従業員親睦の集い、賑やか

去る4月2日、例年になく早い満開の桜を背に、大宮刷機会家族・従業員親睦の集い（バスハイク）が、参加者43名を得て、大型バス1台で実施された。当日はあいにくの曇り空で、雨を心配しながらも三浦半島油壺一周のハイキングを楽しんだ。

久し振りに子供達の歓声を背に、磯遊びに興ずる人達も雄大な海原にしばし憩うことが出来た。当日の楽しみは城ヶ島から油壺一周の観光船であったが、荒れた波に運行中止となり、昼食場所である海上亭に集合、名物のまぐろのかぶと焼きをメインとした昼食を囲むこととなる。大きな目玉ににらまれ、

子供達はどこから箸をつけたものやら、店のお姉さんの手を借り、和気あいの楽しい時間となる。窓から眺める雄大な大海原と心地よい潮風にしばし日頃の疲れをいやし、十分な休養となる。

三浦港はまぐろ最大の水揚げ地で、海産物の店も多く、しばし買い物を楽しみ、あっといふ間の1日であったが、小雨の中、臨海最大のサービスエリア大黒で最後の休憩を楽しみ、一路大宮へと帰路についた。
(Y・O生記)



熊谷支部 通常総会開催される

去る5月13日（土）、埼玉県印刷工業組合熊谷支部平成18年度通常総会が開催された。

夏目義夫支部長（夏目印刷）、大川竹夫副理事長（三興社印刷）の挨拶から始まり、議事に入る。17年度事業・決算報告を可決承認。18年度の新役員には従前役員に加えて大塚正晴（大塚印刷）、関口裕治（十字堂）が新しく役員として選出された。続いて18年度事業計画・予算も無事可決され、18年度のスタートとなった。

埼玉県印刷工業組合熊谷支部 役員

- 支部長 夏目 義夫
- 副支部長 飯田 一義
- 役員 市川 博也
- 役員 大川 竹夫
- 役員 大塚 正晴
- 役員 神山 茂和
- 役員 椎橋 俊夫
- 役員 関口 裕治
- 会計 梶塚 光男
- 監事 榊原 英雄



印刷機材の総合商社
KINSEISHA
 CO., LTD. 株式会社 錦精社



【機器販売】

アダストドミナント印刷機械総販売元
INK DRY PLUS (IR乾燥装置)

印刷機・DTP関連機器
製版・断裁・製本機械
印刷用資材(PS版・インキ・薬品・その他)

さいたま支店

◇ JR京浜東北線北浦和駅下車 徒歩15分
◇ 〒 336-0072 さいたま市浦和区領家5-12-16
◇ TEL 048-886-8781 FAX 048-886-8855

バックカーボン・ナンバーリング印刷

カッターマシン・伝票丁合

信頼と技術、ガッツなパートナー深谷カーボン



株式会社 深谷カーボン

代表取締役 深町 要一
ホームページ <http://www.ksky.ne.jp/~youichi/>

電話 (048) 520-1649(代)
FAX (048) 520-1410
埼玉県熊谷市上川上952-5



噂はフォントだ!

「新発売のフォント」も「無料」で追加ご提供します。

「239全フォント」が自由に使えます。

「Macintosh&Windows」両方に対応。最先端の環境にします!

「プリンタフォント」も発売開始しました。

「1年間単位」のシンプルな年間契約でご提供します。

1年間 1台 「52,500円」のリーズナブルな価格を実現しました。

MORISAWA PASSPORT
www.morisawa-passport.jp

※使用方法につきましては、エンドユーザライセンスに基づきます。※価格は消費税込です。※2006年6月現在のフォント情報です。

マルチメディアを追求する
印刷機器材の総合商社


SHITARA

- 印刷関連機器・材料販売
- Macintosh・Windows出力・教育・保守サービス
- ITビジネス支援事業

モノクロオンデマンド印刷の熟成
CleverPress Neo

設楽印刷機材株式会社 URL <http://www.shitara.co.jp>

本社 〒379-2166 群馬県前橋市野中町158-1 TEL.027(261)7000代 FAX.027(261)7700
 宇都宮営業所 〒320-0843 栃木県宇都宮市花園町17-1 TEL.028(633)8324代 FAX.028(635)8385
 埼玉営業所 〒360-0012 埼玉県熊谷市上之540-15 TEL.048(521)9851代 FAX.048(527)0562
 水戸営業所 〒310-0851 茨城県水戸市千波町1989-1 TEL.029(305)6767代 FAX.029(305)6776

よいものだけを...

ムトウユニパック

MUTOH UNIPACK Co.,LTD.
TOKYO

さいたま/埼玉県さいたま市大宮区堀の内町1-698-1 ☎048(647)6100 FAX048(644)4414
 本社/東京都江東区永代1-7-12 ☎03(3642)1141 FAX03(3643)6654
 URL:<http://www.mutoh-u.co.jp>

山櫻

山櫻プライベートフェア2006
「心のかたち、紙のかたち」

[日 時] 2006年8月25日(金)26日(土)10:00~
 [会 場] 東京交通会館(JR・地下鉄 有楽町駅前)
 [問合せ先] 03-5543-6395(企画部)
www.yamazakura.co.jp/fair.html

人 事 往 来

- 2月22日 (熊谷ティアラ21ハートピア)
第4回たんぼぼ運営委員会
関東甲信越静地区印刷協議会下期定例会打合せ
- 3月2日 (東京ディックビル)
関東甲信越静地区印刷協議会下期定例会
- 3月7日 (組合事務所)
広報委員会
- 3月17日～18日 (ジェイ・エス・ピーモールディング㈱)
企業見学会
埼洋会との情報交換会
- 3月30日 (熊谷 絆家本舗)
青年部役員会
- 4月18日 (組合事務所)
監査会 古瀬・椎橋両監事 新理事長 櫻井専務理事
事務局出席
ニュープリンティング取材 新理事長 吉田・岩淵
各副理事長 櫻井専務理事出席
- 4月24日 (組合事務所)
予算会議
- 4月25日 (印刷健保会館)
印刷健保本部地区協議会
二重作副理事長出席
- 4月27日 (東京ディックビル)
全印工連第1回理事会
櫻井専務理事出席
- 4月28日 (熊谷 絆家本舗)
青年部役員会
- 5月1日 (熊谷ティアラ21ハートピア)
第1回理事会
- 5月13日 (マロウドイン熊谷)
熊谷支部総会
- 5月20日 (浦和ワシントンホテル)
埼印工組通常総会
- 5月23日 (中央会春日部支所)
中央会との打合せ
二重作副理事長 吉田副理事長 吉田氏 事務局佐々木出席
- 5月24日 (東京アジュール竹芝)
全印工連通常総会
新理事長出席
- 5月26日 (サンルート熊谷)
青年部通常総会・セミナー
新理事長出席
- 6月3日 (マロウドイン熊谷)
営業士会総会・講演会
- 6月6日 (サンルート熊谷)
中央会北部支部幹事会
新理事長出席
- 6月9日～10日 (千葉 鴨川グランドホテル)
関東五県印友会
二重作・新井各副理事長 櫻井専務理事 事務局深井出席
- 6月17日 (川越 福登美)
川越支部総会

新 組 合 員 紹 介

創芽企画㈱

溝口 健司

志木市上宗岡4-10-6

☎ 048-472-3608

計 報

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます

3月29日 関印刷㈱ (熊谷)
社長 関 周司様

4月30日 (有)ミネ五十子印刷
会長ご母堂 五十子よね様

編 集 後 記

◇ 5月20日(土)、浦和のホテルを会場に、当工組の平成18年度通常総会が開かれた。過ぐる1年の事業報告や収支決算について、特に意見もなく、提案を了として可決承認をした。予算上は、収入補填の方法として、退職積立預金からの取崩し収入を200万円見積っていたが、それを極力抑えて、150万円にとどめる等、厳しい台所事情の中で、執行部としては大変な努力をしたことになる。そのことへの、組合員からの可決承認は饒であったろうか。

◇ しかし、議案は移ってこれからの1年組合運営をどう舵取りしていくかとなると、一層深刻な事態に直面する。組合員の賦課金でカバーしきれない収入補填の先がいよいよ乏しくなる。退職積立金繰り入れも底をつき、50周年事業の積立金も繰り入れねばならない。それをしても予算総額は前年度予算額を100万円以上回る状況である。事業計画・予算案の議案審議中ではなく、その他の議案に移ってようやく、厳しい事態への執行部としての心構え、対応策如何を問う発言があった。執行部としてもどんな妙案であろう。これからの具体的局面で一つ一つ解決していくしかない。質問者が再度発言を求めて、組合員の賦課金引上げや財政危機突破の特別賦課金徴収を提案した。会場の雰囲気も「原則やむなし」でなかったか。

◇ 組合の存在、組合の事業は組合員のためにあり、組合員のためになされるものである。やるべきことが決まったら、それを支える財源は組合員の負担、組合員の工夫で工面するしかない。いわば組合活動の原点が今問われているのである。この1年、否2年、3年はそうした原点に立ち帰っての議論、話し合いをしていかねばならないのではないかと。執行部だけでなく、廃業退会が続く中で120社余になった組合員が寄り集って、お互い気兼ねなくそんな話の輪を作っていく必要があると思う。(S.O)